

こころらぼ

21号

NAGOYA

今号の内容

- ♡ 本市における地域移行・地域定着支援
の取り組みについて 2~3
- ♡ アディクション・セッション 4~5
- ♡ 自殺予防週間 6
- ★ 平成29年度こころらぼ事業案内 7
- ★ リレーでつなごう! 地域の支援機関〈第11回〉... 8
「ほっとはむ(就労継続支援B型・生活介護事業)」

本市における地域移行・地域定着支援の取り組みについて

わが国の精神科病院には、地域の受け皿が整わないことから地域から孤立し入院生活を余儀なくされている入院患者（いわゆる「社会的入院者」）が存在し、その方たちの退院・社会復帰が課題となっています。平成16年9月の「精神保健福祉施策の改革ビジョン」以来、「入院医療中心から地域生活中心へ」の基本理念のもと、国は施策を進めてきました。名古屋市においても「障害福祉計画」により社会的入院者の解消のため数値目標を掲げ、課題に取り組んできました。

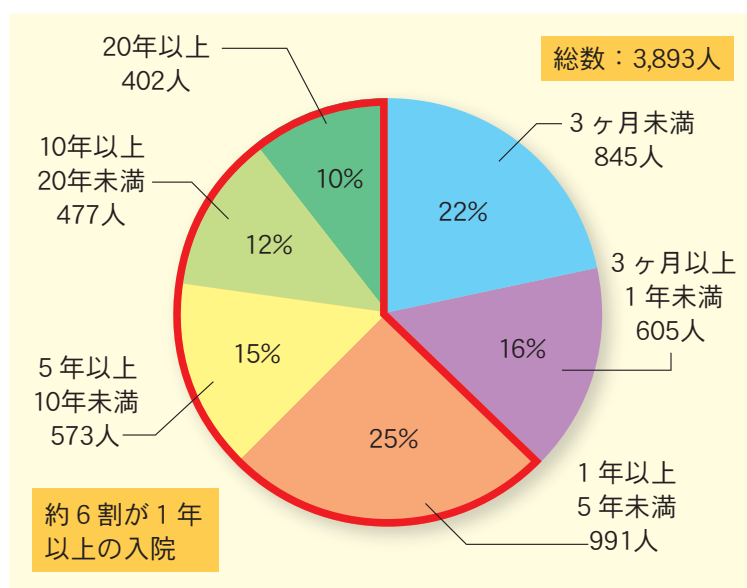
◆名古屋市における精神科医療の現状

【表1】精神科医療の現状（平成28年度）

精神科病院数	16病院
精神科病床数	4,567床
1日平均在院患者数	3,918人
精神科病床利用率	80.8%
平均在院日数	243.1日

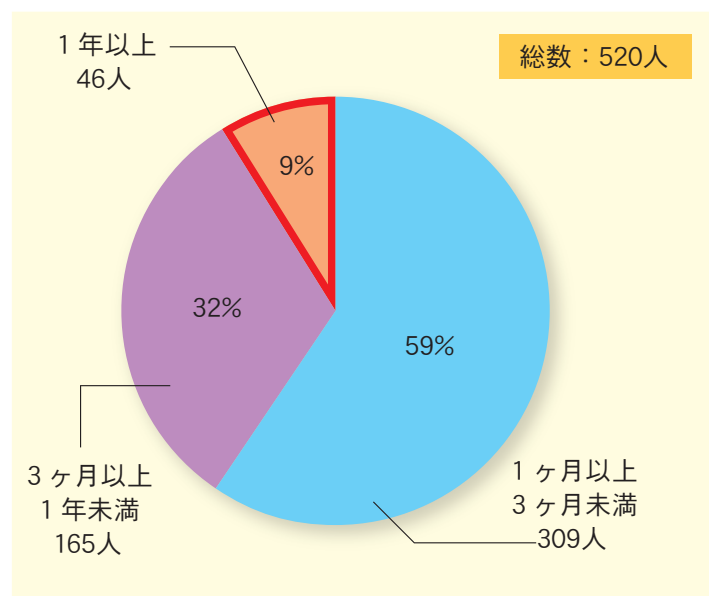
（名古屋における精神保健福祉－資料集－）

【表2】入院期間別在院患者数（平成28年6月30日現在）



（平成28年度精神保健福祉資料 630調査）

【表3】平成27年6月の1ヶ月間に入院した患者の退院状況（平成28年6月30日現在）



（平成28年度精神保健福祉資料 630調査）

名古屋市内に精神科病床を有する精神科病院は16病院あり、1日平均在院患者数は3,918人となっています。また平均在院日数は243.1日となっています（表1）。入院期間別在院患者数を見ると、**全体の在院患者数の約6割以上が1年以上の長期入院となっています**（表2）。平成27年6月の1ヶ月間に入院した患者の退院状況から、入院から1年以内には9割の方が退院している一方、**1割弱は1年を超える長期入院（ニューロングステイ）になっていることが分かります**（表3）。

1年間で計算すると・・・

平成28年度 名古屋市内の精神科病院入院患者数

5,877人

(平成28年度病院報告より)

1割弱が1年以上入院したとすると

1年間で 約520人の方が新たに長期入院となる

「平成28年度病院報告」によると、平成28年度の名古屋市内における新たな精神科病院入院患者数は5,877人となっています。この5,877人の方の約1割が1年以上入院するとしたら、**1年間で約520人の方が長期入院者となることが分かります。**このことから、現在すでに長期入院中の方が地域で生活できるように、また今後入院となる方々が長期入院とならないような取り組みが必要と考えられます。

◆名古屋市における地域移行・地域定着支援の取り組み

名古屋市では平成20年度より精神障害者地域生活定着支援事業を名古屋市の単独事業として実施し、その後も研修など様々な取り組みを行っています。

名古屋市における取り組み

平成20～23年度	「精神障害者地域生活定着支援事業」「精神障害者地域移行・地域定着支援事業」
平成24年度	障害者自立支援法（現 障害者総合支援法）の改正により地域相談支援（地域移行支援・地域定着支援）が個別給付化 「精神障害者ピアサポート活用事業」開始

平成26年度より各年度ごとにテーマを決め、地域移行・地域定着支援推進研修を実施

平成26年度	顔の見える関係作りを目標に、関係機関について「知る」
平成27年度	モデル区（守山区）を選定し、事例検討や地域の強み・課題を「考える」
平成28年度	地域（モデル区）主体で研修を実施し、地域や医療機関に「伝える」
平成29年度	市内を4ブロックに分け、各ブロックで取り組みを進めていく

本市では平成26年度より各年度ごとにテーマを決め、「地域移行・地域定着支援推進研修」を実施してきました。

平成29年度からはさらに地域で具体的な取り組みを行うため、名古屋市内を4ブロックに分け、それぞれのブロックの保健所、障害者基幹相談支援センター、精神科病院を中心に、研修など地域の強みを生かした取り組みを行っていく予定です。長期入院者の地域移行・地域定着を進めていく上での課題は、地域での早期受診体制、住居の確保、親亡き後の安心できる地域づくり、当事者の社会的活動の保障等多岐に渡ります。障害の有無や程度に関わらず誰もが安心して自分らしく地域で暮らしていくには、保健・医療・福祉関係者の連携が欠かせません。今後も名古屋市として地域移行・地域定着支援の目標を実現するために、様々な取り組みを進めていきたいと考えています。

アディクション・セッション

平成29年10月9日（月曜日・祝日）東文化小劇場にてアディクション・セッションを行います。

「アディクション」とは、日本語では「嗜癖」と訳され、ある特定の物質や行動・人間関係が、本人・周囲の人々に都合の悪い事態が引き起こされているにもかかわらず、その習慣から抜け出せなくなりやめられない状態をいいます。それは、単なる「習慣」や「嗜好」よりも強いニュアンスで、「ある習慣への沈溺」「ある行動の悪循環」の状態が認められることをいいます。

依存や嗜癖からの回復には、当事者同士が集まり回復を支援しあう自助グループへの参加が有効だと言われており、名古屋においてもいくつもの自助グループが活動をしています。

『名古屋市嗜癖問題支援機関リスト』では自助グループはじめ嗜癖問題に対する支援をしている団体等を掲載しています。その中から自助グループの一部をご紹介します。

平成29年度
アディクション・セッション
H29.10.9(月・祝)9:15開始!

【日時】平成29年10月9日(月) 9:15~15:50 (開場9:05)
【場所】東文化小劇場(名古屋市中区大幸南1-1-10 カルポート東4階)
※公共交通機関をご利用ください。
【内容】依存症・嗜癖問題に取り組む自助グループ・支援機関などの
からのメッセージ、まとめ講演
【スケジュール】
【午前】9:15~11:30 メッセージ
【午後】12:25~15:50 メッセージ、まとめ講演
※スケジュールは進行の都合で変更になることがあります。
【メッセージ参加予定】
○アルコール依存症の本人グループ
○アルコール依存症のリハビリ施設
○薬物依存症のリハビリ施設
○薬物依存症の本人グループ
○薬物依存症の家族等グループ
○ギャンブル依存症の本人グループ
○摂食障害の本人グループ
○摂食障害の家族等グループ
○アダルト・チルドレン等の本人グループ
○医療機関
○行政機関 他(予定)
【まとめ講演】西野敏夫氏(臨床心理士)
ひいろく工務とぼす主幹
【参加方法】事前申込み不要。入場無料。当日先着順自由席のみ。
※定員は定員です。
【お問い合わせ】名古屋公式ウェブサイト「暮らしの情報」-「障害者」-「障害者のための施設」
【URL】http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/22-5-3-0-0-0-0-0-0.html

アディクション・セッション~当日のプログラム(予定)~
※スケジュールについては、当日変更となる場合があります。
※開始・終了時間は目安です。
進行具合によって変更されることをご了承ください。

番号	出演団体・機関	開始	終了
【開会の挨拶】	名古屋市精神保健福祉センター	9:15	9:20
1	橋狭間病院 藤田こころケアセンター	9:20	9:25
2	GA(ギャンブラーズ・アノニマス)	9:25	9:40
3	OAなごやグループ(なごやグループ・みえくもーぶ)	9:40	10:10
4	テルモの会	10:10	10:30
5	名古屋マツ	10:30	10:45
6	八事病院	10:45	10:50
7	NPO法人 愛知県新酒連会 仲間の会 藤田まゆみ・あゆみ・はばたき	10:50	11:00
8	NPO愛知家族会	11:00	11:20
9	刈谷病院	11:20	11:25
10	名古屋市男女平等参画推進室 イブの会(なごや相談室)	11:25	11:30
11	養和病院	11:30	12:25
12	NA中部(ナルコティック・アノニマス)	12:25	12:40
13	AA中部北陸セントラルオフィス	12:40	13:00
14	ナラノン名古屋	13:00	13:20
15	セニティバーキヤノン名古屋	13:20	13:40
16	名古屋ダルク	13:40	14:00
17	カウンセリングスペース はじめの歩	14:00	14:30
18	休席(予定)	14:30	14:40
【まとめ講演】	西野敏夫氏(ひいろく工務とぼす)	14:40	15:50

アルコール関連

AA(ALCOHOLICS ANONYMOUS)

電話番号 052-915-1602

ホームページ <http://park16.wakwak.com/~chco>

対象者 アルコール依存症本人

アルコール依存症者本人が集まって、アルコール依存症の回復の手助けをするために愛知県内に毎日1~数ヶ所でミーティングを開催しています。はじめてAAに参加する際には連絡をしてから参加してください。

名古屋連合断酒会

電話番号 052-824-1567

ホームページ <http://aidansyu.webcrow.jp> (愛知県断酒連合会)

対象者 アルコール依存症本人、家族

名古屋市内各地で毎月計70回の定例会を開いて、同時に酒害相談も受けています。

AL-ANON アラノン家族グループ

電話番号 03-5483-3313

ホームページ <http://www.al-anon.or.jp/>

対象者 アルコール依存症の問題を持つ人の家族と友人

名古屋市内のミーティング(クローズド)アラノン中村グループは毎週土曜日に開催しています。自分が飲酒問題の影響を受けている、または受けたと感じるなら、参加できます。ご連絡をされたうえでご参加ください。



(昨年度のものです。)

なお、毎年11月10日から16日は、アルコール関連問題啓発週間となっております。ご自身や身近な方のお酒の飲み方について改めて見直す機会にはいかがでしょうか。

薬物関連

NA (NARCOTICS ANONYMOUS) 中部

電話番号 090-1299-2190

ホームページ <http://najapan.org/chubu/>

対象者 薬物問題を持つ当事者

薬物問題をもつ仲間同士の集まりで、回復にむけてのプログラムを実施している。

ミーティングは愛知県内だけでも20ヶ所近くで開催されています。会場や参加条件についての情報は、上記公式サイトで確認できます。

NAR-ANON FAMILY GROUP (ナラノン ファミリー・グループ)

電話番号 03-5951-3571 (ナラノンNSO)

ホームページ <http://nar-anon.jp/index.html>

対象者 家族や友人等の薬物問題でお困りの方

愛知県内でミーティングを4か所で行っています。会場、ミーティング参加につきましては、ナラノンNSOにご連絡ください。

NPO愛知家族会

電話番号 090-7866-6753

ホームページ <http://www.aichikazokukai.com/>

対象者 薬物問題を抱える家族

薬物依存症者に対する正しい理解、抱える家族への相談援助をしています。定例会も月に1回開催しています。家族の薬物問題でお困りの方、定例会に参加希望の方はご連絡ください。

ギャンブル関連

GA (GAMBLERS ANONYMOUS)

電話番号 なし

ホームページ <http://www.gajapan.jp/>

対象者 ギャンブルの問題を抱える本人

名古屋市内で週5日ミーティングを行っています。ギャンブルの問題から回復したいと思ったら一度ミーティングにご参加ください。

GAM-ANON ギャマノン

電話番号 03-6659-4879

ホームページ <https://sites.google.com/site/gamanon.japan/>

対象者 ギャンブル依存症の問題をもつ人の家族、友人

ギャンブル依存症の家族・友人という同じ立場の人達が集まって、匿名でミーティングを行っています。名古屋市2か所でミーティングを開催しています。

当センターでは、名古屋市内在住・在勤の薬物等の依存で悩んでいる方、またはそのご家族を対象に以下の日程で予約制の面接相談を行っています。

第1 金曜日14:30～ 第2 水曜日10:00～ 第4 水曜日14:30～

詳しくは、当センターホームページをご覧ください。当センター(483-2095)までお電話ください。

自殺予防週間

9月10日の世界自殺予防デーにちなんで、毎年9月10日から16日までの1週間が自殺予防週間となっています。

自殺や精神疾患についての正しい知識を普及し、これらに対する偏見をなくすとともに、命の大切さや自殺の危険を示すサイン、また危険に気付いた時の対応方法について国民の理解の促進を図ることを目的とするものです。

名古屋市では平成26年410人、平成27年388人、平成28年330人（概数値）の方が自死によって亡くなられています。3年連続で減少しており、平成28年は19年ぶりに350人を下回りましたが、依然300人以上の方が自分で命を落とされているという現状があります。

名古屋市では自殺対策として、平成28年度は中日健康フェア2016にて「ツレがうつになりまして～家族でうつと向き合う～」講演会を、オアシス21にて「スマイルデーなごや」を、イオンタウン千種にて「こころの健康フェスタ」をそれぞれ開催しました。

また、9月と3月に主要駅構内や駅周辺でキャンペーンを実施し、こころの絆創膏を配布しました。



こころの絆創膏



平成28年度こころの健康フェスタの様子



当センターでは、大切なご家族を自死で亡くされた方を対象に毎月第3火曜日 10:00から12:00、予約制の面接相談を行っております。

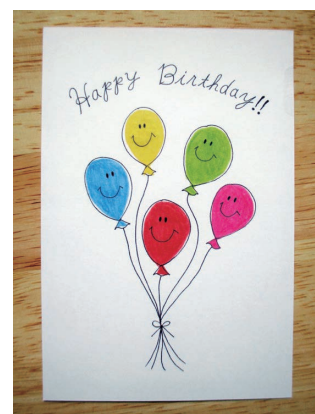
詳しくは、当センターホームページをご覧ください。当センター（052-483-2095）までご連絡ください。

また、名古屋市では、うつ病を疑う症状などにより、医療機関の受診について迷っている方やそのご家族等を対象に夜間及び土日に「名古屋市こころの健康（夜間・土日）無料相談」を実施しています。予約制の面接相談となりますので、相談をご希望の方は、予約専用電話（052-962-9002）までご連絡ください。

名古屋市内各保健所にて、精神科嘱託医による予約制の面接相談を行っております。相談をご希望の方はお住いの区の保健所までご連絡ください。



ワークルーム・ぐるっぺ



工房さんりん舎Kさん

精神保健福祉市民活動セミナー

こころの健康や精神障害(者)について正しい知識の理解を深め、地域でどのような活動ができるかを共に考えていくための連続セミナーです。

日 程 平成29年10月2日(月)・10月6日(金)・10月27日(金)
(全5回) 11月9日(木)・11月17日(金)

午後2時00分から4時00分

※初日と最終日は午後2時00分～午後4時30分

場 所 名古屋市精神保健福祉センター

申込方法 各区保健所・区役所福祉課・図書館でチラシを配布しております。
チラシ内の申込用紙または当センターのホームページよりダウンロードした申込用紙にて郵送又はFAXで申込ください。
※講座内容の詳細については、チラシ等をご覧ください。

ホームページ <http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/22-5-3-0-0-0-0-0-0-0.html>

申込期間 9月14日(木) 必着

ひきこもり講演会

日 時 平成29年10月14日(土) 午後1時30分～4時00分(開場:午後1時)

場 所 名古屋市高齢者就業支援センター 大会議室
(名古屋市昭和区御器所通3丁目12-1 御器所ステーションビル5階)

内 容 講 師: 山本耕平先生(立命館大学産業社会学部 教授)
テーマ:「ともに生き ともに育つ ひきこもり支援～家族も支援者もともに学ぶ～」

「本当は誰かに相談したい」「親はどう接したらいいんだろう…」ひきこもりのご本人や家族は様々な想いを抱えています。ひきこもりの問題に直面したとき、私たちは、何ができるのでしょうか。ご本人や家族の気持ちに寄り添いながら、家族・支援者・地域…それぞれの立場でできることを一緒に考えてみませんか。

定 員 200名 先着順・要事前申込

申 込 電話又はFAXで①氏名、②連絡先、③お住まいの区をご連絡ください。
電話:052-483-2077 FAX:052-483-2029
(定員になり次第締め切ります)



工房さんりん舎 Mさん



工房さんりん舎 Iさん



リレーでつながろう！地域の支援機関 第11回



ほっとはむ (就労継続支援B型・生活介護事業)

おいしくて安全な食品で地域貢献

障がいがある人たちが弁当やパン、クッキーなどを製造販売し、ショップやカフェ経営もしているほっとはむ。

地元のボランティアに支えられながら障がい者の自立支援、高齢者配食事業など地域に欠かせない助け合いの仕組みづくりを進めています。

また、区内の他事業所と共同で、地域の行事や祭事、大学構内での販売などにも取り組んでいます。



地域の役に立つことですべての人に生きがいを

平成29年8月からは、名古屋市立八事斎場内の喫茶・売店事業を受託し「ショップ結（ゆい）」として活動しています。ほっとはむは <多機能・一体運営型障害福祉サービス事業所ほっとはむ> として区内4か所の作業所を一体運営し、活動をしています。

定員 55名 **開所日** 月曜日～金曜日、又は土曜日（事業内容により違いがあります） **時間** 9時～16時
事業所本部 〒468-0055 名古屋市天白区池場3-408 Tel.(052) 808-3613 fax (052) 808-3699

次回は「なるみ作業所」さんです。

名古屋市精神保健福祉センター ころらぼ

Nagoya City Mental health & Welfare Center KOKORABO

名古屋市精神保健福祉センターは、精神保健福祉活動の中心的な施設としてさまざまな事業を行っています。

精神保健福祉相談 (予約制)

思春期の精神保健相談、薬物リハビリテーション相談、自死遺族相談、その他の精神保健福祉相談を行っています。

普及啓

心の健康や精神障害に関する正しい知識の普及を図るために、講演会の開催やパンフレットの発行を行っています。

組織育

精神障害者家族会や精神保健福祉に関するボランティア団体等の活動を支援しています。

リワーク支援プログラム

うつ状態で離職(休職)中の方が復職・再就職を目指すプログラムを行っています。

調査研究・企画立案

精神保健福祉行政の推進を図るため、調査研究や情報収集を行い、施策の企画立案を行っています。

人材育成・技術援助

保健所等の関係機関の職員を対象に、精神保健福祉活動についての専門的な教育研修、技術援助を行っています。

精神医療審査会の事務

精神障害者の人権に配慮し、その適正な医療及び保護のための専門的・独立的な機関である精神医療審査会の事務を行っています。

自立支援医療(精神通院)等判定

自立支援医療(精神通院)・精神障害者保健福祉手帳の申請に対する判定業務を行っています。

名古屋市ひきこもり地域支援センター tel.052-483-2077

名古屋市精神保健福祉センター通信 ころらぼNAGOYA 21号

発行日 2017年8月
 発行 名古屋市
 発行部数 3,000部
 編集担当 名古屋市精神保健福祉センター ころらぼ
 〒453-0024 名古屋市中村区名楽町4丁目7番地の18
 tel.052-483-2095 fax.052-483-2029
<http://www.city.nagoya.jp/kurashi/category/22-5-3-0-0-0-0-0-0-0.html>